

2月のほけんだより



暦の上では春になる2月。まだまだ寒い日は続きますが、日差しが暖かく感じられる日は、園庭で、ジャンパーを脱いで元気に遊んでいる子も見かけます。

冷えと乾燥からインフルエンザや胃腸炎にかかりやすい季節です。園では、給食・おやつ前、トイレの後、外遊び後には手洗いをし、感染症対策をしています。御家庭でも規則正しい生活リズムを心掛け、お子さんの体調の変化には十分注意してお過ごしください。

《1月の感染症》

溶連菌感染症・・・18人
発熱・呼吸器症状・・・31人
嘔吐・下痢症状・・・11人
インフルエンザ・・・2人
新型コロナウイルス・・・1人

溶連菌感染症が流行しています。

お子さんの発熱時御家庭の様子を見て解熱することもあると思いますが、微熱が続く、解熱しても元気がない、のどの痛みが残る、発疹が出てきたなどの症状が見られましたら、病院受診をお願いします。

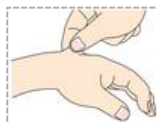
《2月の保健行事》

健康診断：14日(水) つくし組 14:00頃から

冬の隠れ脱水に注意してください

子どもの水分足りてる？見極めのポイント！

1. 皮膚 ・皮膚に張りがなくカサカサしている。
・手の甲の皮を引っ張って富士山の形を作り、手を離れた時に山の形が残る。
2. 口 ・唇が乾いている
・口の中がネバネバしている
3. 尿 ・おしっこに行く回数が減る、尿量が少ない
・おしっこの色が濃くなる



これらの症状が見られたら、速やかに水分補給を！
冬の水分補給は風邪予防にも効果があると言われています。こまめな水分補給を心掛けてください。

溶連菌感染症が流行しています！

溶連菌感染症(溶結性連鎖球菌感染症)

症状

- ・発熱
- ・発疹(顔・胸・腕・手・太もも・足首・足の甲など)
- ・のどの痛み、腫れ
- ・イチゴ舌(舌が赤くなる)
- ・首のリンパ節の腫れ
- ・腹痛・おう吐・下痢

* 普段見られない発疹が急に出了ら受診してください。

感染経路

飛沫感染・接触感染・・・ 予防には手洗いを！！

治療

抗生剤による治療を行います。治療をしなかったり、抗生剤の服用を途中で止めたりすると、リウマチ熱や急性糸球体腎炎などの合併症が出る場合があります。

● 医師の指示通り、薬を服用してください。

※ 血尿(赤っぽい尿・黒っぽい尿)が見られたらすぐ受診してください。

登園のめやす

- ・抗生剤の内服を開始して24～48時間経過していること。
 - ・解熱しており、のどの痛みが消失し、普段通りの生活が送れること。
- ※ 登園開始日は医師に御確認ください。
※ 登園の際は登園届を提出してください(保護者記入)

豆まきはお子さんと一緒に！

もうすぐ節分です。豆まきをする御家庭もあると思いますが、小さなお子さんがいる御家庭は注意が必要です。

奥歯が生えそろわず、かみ砕く力や飲み込む力が十分でない子どもは、豆やナッツ類をのどや気管に詰まらせて窒息したり、小さなかけらが気管に入り込んで肺炎や気管支炎を起こしたりするリスクがあります。

消費者庁では「硬い豆やナッツ類は5歳以下の子どもには食べさせないように」と注意喚起しています。御家庭で豆まきをするときは、お子さんのそばを離れず、一緒に行ってください。また、豆まきをした後、お子さんが拾った豆を、鼻や耳に入れないように、後片付けも、しっかり行なってください。

